

科目名	神経・生理心理学		担当教員	蔵富 恵	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブラーニングの要素	該当なし				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	この講義では、心の働きを支える脳や神経の働きのプロセスを紹介・解説する。私たちが日常的に行う思考や行動が、脳のどの部位によって支えられているのか、また、その脳の部位の不具合によって行動や思考にどんな変化がもたらされるのかを理解し、多様な人間の状態や行動の背後の原因を推察できるようになることが到達目標である。				
授業の概要	脳や神経、生理的变化は膨大かつ多様な研究の蓄積があるため、ここでは私たちにとても身近でかつ、心理的処理過程をトータルに扱える音楽・絵画等芸術の鑑賞場面を取り上げる。絵を見て、音楽を聞いて、内容を理解し、感動や情動を動かし感想を述べるまでの間に、私たちの脳の中で行われている処理を順を追って解説していく。また、絵や曲を創作する人間の技能がどのような神経活動で支えられているのかについても解説する。各回の講義は座学中心であるが、場合によっては視聴覚教材の提示、配信、簡単なデモンストレーションなどを行う場合がある。				

授業計画	
第1回	ガイダンス：神経・生理心理学の考え方と脳神経機能の研究手法
第2回	脳神経系の構造と機能
第3回	感覚・知覚に関わる脳機能
第4回	認知・実行機能に関わる脳機能
第5回	言語・記憶に関わる脳機能
第6回	情動・動機づけに関わる脳機能
第7回	行為に関わる脳機能
第8回	まとめ

事前学修		毎回の講義で前回の復習問題を行うので、講義開始前に前回の内容をおさらいしておくこと。
事後学修		次回の講義に関する質問や課題を課すことがある。この課題に取り組まない場合には、次回の内容が十分に理解できない場合があるため、忘れずに課題に取り組むこと。
フィードバックの方法		質問などは各授業終了後に受け付け、翌週にフィードバックを行う。また、メールでの質疑も随時受け付け、応答する機会を設ける。

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない。
上記以外の試験・平常点評価	100%	授業への積極的参加度・貢献度に加え(30%)、授業内で提示される課題（80%）に基づいて評価する。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	関連資料・引用文献は毎回の講義中に紹介する。			